

30

「渚理論」について

医療の
小ネタ

東洋と西洋の出会いのように、異質なものが出会う場を、私は「渚」と名付けています。昔から「渚」は、新しい知恵や、価値や、文化の生まれる場となっていますが、それを生み出すのは、「渚」に集う“多様性”に他なりません。このことは、先に挙げた東洋と西洋の出会い以外にも、仏教とキリスト教の出会い、王制と共和制の出会い、都市部と農村部の出会いなど、多くの実例が証明しています。

そうであるならば、逆に「渚」へ意図的に“多様性”を呼び込めば、新しい知恵や、価値や、文化を生み出すことが出来るのではないか？これが「渚理論」です。ある日突然閃いたこの「渚理論」は、今や私のほぼすべての活動の根幹を成しています。

たとえばいま私は「医療機関は地域の共有財産である！」と繰り返し発信しています。「医療機関を、患者さん“が”利用する場所から、患者さん“も”利用する場所へ！」と訴え、実際にそのように行動しています。医療は医学だけで対処できるほど生易しいものではありません。より良い医療を提供するためには、多くの方々との協働がどうしても必要です。

医療の小ネタ^{②⑤}で述べたように、患者さんは最高の教科書です。最新のカルテ番号は**149087番**で、それはすなわち**14万9千87冊**の教科書を精読したことに他なりません。もちろん中には亡くなられた方もおられます。それでも学ばせて頂いた記憶は残り、次の患者さんの診断や治療に生かされます。

当院は平成2年11月16日に開院しました。それから35年になります。縁あって当院を受診された皆さま、これからも力を合わせて、新しい医療の歴史を紡いで行きましょう！